

第 7 1 8 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 二川ダム〔和歌山県〕

- ・ 二川ダムは、昭和28年の大水害等を契機に建設され、昭和42年に完成した、洪水調節と発電を目的とする重力式コンクリートダム。
- ・ 供用開始後、ダム下流の環境改善を目的に、平成5年度に全国初の「ダム水環境改善事業」として採択され、既設ダムの堤体に穴を開け、放流設備を新設する改良が行われた。また平成28年には、その放流設備を利用した「有田川町営二川小水力発電所」の運転が開始された。
- ・ 平成23年台風第12号による大水害を契機に、平成24年から全国に先駆けて事前放流の運用を開始した。

…………… 和歌山県有田川町



2 湯浅伝統的建造物群保存地区〔湯浅町〕

- ・ 湯浅伝統的建造物群保存地区は、近世から近代にかけて建築された醸造業に関わる町家や土蔵が建ち並ぶ歴史的町並みで、平成18年には全国初の醤油の醸造町として、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された。
- ・ 町にゆかりのある詩歌や古民具をせいろを用いて展示し、町並み全体を資料館に見立てた「せいろミュージアム」の取組が注目されている。
- ・ 平成29年には、「『最初の一滴』醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅」として日本遺産に認定されている。

…………… 和歌山県湯浅町



3 本町公園Park-PFI事業及び北ぶらくり丁道路空間整備事業

- ・ 本町公園は、和歌山市中心部に位置する都市公園。民間事業者の視点や創意工夫を取り入れ、より効果的な公園管理を目指し、Park-PFI制度を活用し、令和2年にリニューアルオープンされた。
- ・ 都市再生推進法人との連携・共創により、芝生広場や人が集い交流するスペースを整備。様々なイベントも開催され、まちの回遊性とにぎわいを高める官民連携の先進事例と評価されている。

…………… 和歌山県和歌山市



- ・ 北ぶらくり丁道路空間整備事業は、歴史ある商店街の再生と歩行者中心のまちづくりを目指す官民連携の取組。令和5年には、アーケード撤去後の道路空間を活かした憩いの空間の可視化等を目的とした社会実験を実施。映画祭や朝市、マーケットなど多彩なイベントを開催し、地域のにぎわいと回遊性を高める取組を行っている。
- ・ 都市の空洞化に対する実践的なアプローチとして、他の地域からも注目されている。

（北ぶらくり丁の写真（下）は社会実験時）

